タラヨウ

にほんのよみかた	ほかのなまえ
タラジュ	ハガキの木 ジカキバ

タラヨウ

タラヨウのとくちょう

5

ちゅうごくちほう、しこく、きゅうしゅうに
はえている。
4ミリくらいのうすいきみどりいろの小さなはなが
あつまってさきます。
長さは20センチくらい

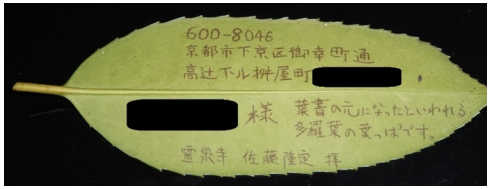
郵便局のシンボルツリー

《つかいかた》

やくよう、りにょうこうかがあり、じんぞうのびょうきのよぼうにつかわれている。

タラヨウのしんめでつくった、ぐうていちゃはダイエットにこうかがあるとされ、さわやかなにがみがありのみやすいとにほんでものまれている。

せんごくじだいにこのはっぱのうらにもじをかいてじょうほうのやりとりをしていたというはなしもあり、紙のかわりに使われていたのでしょう。
じっさいにあてめいをかいてきってをはればおくれることもできます



タラヨウ

和名	多羅葉	5
別名	ハガキノキ、ジカキバ	

分類				
	科（APG分類）	モチノキ科	属	モチノキ属
	科（旧分類）		属	
	科（旧分類）		属	

名前の由来

・文字を書くことができる性質が、インドで経文を書くのに使われていた貝葉の原料のタラジュ（多羅樹）という木に似ていることからタラヨウ（多羅葉）の名前がついた。

・**郵便局のシンボルツリー**
『はがき（葉書）』の『は』は『葉』になっていますね。

樹木の特徴

・静岡県以西、中国、四国、九州に分布する。

・雌雄異株。 花期は4～5月
4㎜程の淡黄緑色の小さな花が密集して咲く。

・葉は肉厚で長さ20cmほどもある長楕円形をしており、その縁には粗い鋸歯(ｷﾞｻﾞｷﾞｻﾞ)がある。
昔、日本では、葉の裏に経文を書いたり、葉を火であぶって占いに使用したため、その多くは寺社に植樹されている。

・秋には8mmほどの小さな球形の赤い実がなる。

用途・薬効

・薬用　利尿効果があり、腎疾患の予防に健康茶として常用される。

・材は薪（マキ）に、樹皮はモチノキ同様、鳥もちに使う。また、中国産のタラヨウの新芽で作った「苦丁茶(ぐうていちゃ)」はダイエットに効果があるとして、さわやかな苦みがあり飲みやすい日本でも流通している。

その他

・戦国時代にこの葉の裏に文字を書いて情報のやり取りをしていたという話もあり、効果な紙の代わりに使われていたのでしょう。

・実際に宛名を明記して定形外の切手を貼れば郵送することもできるそうです。平成9年には当時の郵政省（現：日本郵政公社）が環境保全緑化推進するために、タラヨウを「郵便局の木」と定め、郵便局に植栽を奨励しました。
お住まいの近くの郵便局に植えられているかも？

作成年月日　2021，08，15